



玉御冠、左上は冠側面のX線写真

琉球王国を最も象徴する国宝「玉御冠」は、戦災を免れた現存する唯一の王冠です。玉御冠は、「皮弁冠」とも呼ばれます。琉球国王が即位する際に、朝貢・冊封関係にある中国皇帝から臣下の証として、「皮弁服」と呼ばれる唐衣裳などとともに与えられました。沖縄では、「ヒヤククワン(皮弁冠)」や「タマンチャフイ(玉御冠)」と呼ばれていました。冠の金筋の数は、中国側でランク付けされ、明朝の頃は琉球には郡王クラスの七筋の冠が与えられていました。ところが、国王の肖像画である御後絵の記録からすると、十四代尚徳王(一七五二-一七九四)の頃から、十二筋に変わり写真の伝来品と同じスタイルになったことがわかります。冠や衣裳は、皇帝の使者として冊封使の一行が御冠船と呼ばれる船で

琉球王国を最も象徴する国宝が、運んできました。一行は、半年から1年滞在し、その間七回の宴席が設けられ、最高級の料理や芸能でもてなされました。写真の「玉御冠」は、戦災を免れた現存する唯一の王冠です。表面は黒縮緬で被われ、十二筋の金糸の上から二八個の宝石を鋲で留めています。金の簪は、四本爪の龍と瑞雲が彫られています。X線の調査で、冠は六角形の金属ネットで作られ、金や銀、水晶サンゴなど七種類の宝玉が用いられていることがわかりました。戦前の尚家には数点の王冠があったとされますが、沖縄戦でそのゆくえがわからなくなりました。

歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!②

那覇空港を一緒に考えましょう

PIステップ2



国と沖縄県では、那覇空港の今後の整備のあり方について調査、検討を進めています。それらの結果について、みなさんからのご意見を広く募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。県交通政策課までお問い合わせ下さい。

配付窓口

県交通政策課
県行政情報センター(県庁、宮古支庁、八重山支庁、北部合同庁舎)
那覇空港、モノレール各駅

ホームページ [yahoo!で「那覇空港の総合的な調査」と検索
http://www.pref.okinawa.jp/nahakuukou/](http://www.pref.okinawa.jp/nahakuukou/)

●お問い合わせ
県交通政策課 TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448
e-mail:aa015500@pref.okinawa.jp

琉球王国を象徴する国宝「玉御冠」は戦災を免れた現存する唯一の王冠



県産食材、おいしくてサイコ～!

県産品で学校給食試食会

県産品奨励月間の一環として、県産の野菜やくだものを使った学校給食試食会が6月30日、伊勢美智子助役や桃原致上教育長らを迎えて上間小学校で開かれました。試食会は、学校給食を通して県産食材のおいしさや大切さを理解してもらうことを目的に毎年行われています。子どもたちは、伊勢助役や桃原教育長と会話を楽しみながら、琉球漆器に盛られた黒米ごはんやイナムドッチ、ゴーヤーの和え物などを、残さずきれいにいただけていました。



売り子も商品もイキがいいよ～

寄宮中学校職場体験

7月3日から7日までの間、寄宮中学校の生徒が第一牧志公設市場や周辺店舗で職場体験を行いました。体験することで、商売の難しさや楽しさを実感し、働くことの意義や目的を学ぶことを目的に行われた同体験には、2年生の生徒26名が参加しました。生徒たちは「頑張りな」と声をかけられると、少し照れたような笑みを浮かべながら、店の人の指導の下、てきぱきと仕事をこなしていました。



笑顔と走る100円バス

新都心コミュニティバス出発式

新都心地区に誕生した新しいコミュニティバス「新都心循環線」の出発式が7月1日、新都心公園で行われました。運行するバスは、小中学生が応募した絵がペイントされた1台を含む小型バス3台で、赤・黄・緑の鮮やかな車体には、草花や生き物がユニークに描かれています。見た目にも楽しそうで、新都心の街並みにもよく映えるコミュニティバスの料金は、大人100円で、15分～30分間隔で運行しています。



時計塔設置や植樹など公園行政へ貢献

那覇東ロータリークラブへ感謝状贈呈

去る5月18日に、創立40周年記念事業として牧志公園内に時計塔を寄贈した那覇東ロータリークラブに、6月28日、翁長市長から感謝状が贈呈されました。贈呈式で翁長市長が、市内の公園への植樹など、これまでの公園行政への貢献に対しお礼を述べると、同クラブの仲本清弘会長は、「ロータリークラブの理念のもと、これからもいろいろな分野で市民や社会へ貢献していきたい」と力強く抱負を語っていました。